

信頼される学校であるための行動計画

三重県立みえ夢学園高等学校

本校の目指す学校像は、「自分を見つめ、夢の実現に向けてチャレンジできる学校」です。その実現に向けて、教職員一人ひとりが自らの使命と職責の重さを常に意識し、自信と誇りを持って子どもたちと向き合うことができるように、また、生徒・保護者や地域から信頼される学校であり続けるために、次のとおり行動計画を策定します。

1 目指す姿

(1) 育みたい生徒像

- 自分の持ち味を生かし、向上心を持って積極的にチャレンジする生徒
- 社会的・経済的に自立し、社会の一員として、役割を果たすことができる生徒
- 進路実現に向けて、必要な基礎学力を身につけている生徒
- 心地よい人間関係を築くために、ルールやマナーを大切にしている生徒
- 社会の中で生きていくために、社会性を身につけている生徒

(2) ありたい教職員像

- 個々の生徒の状況を把握し、生徒が安心してチャレンジできる環境づくりに積極的に取り組む教職員
- 目指す学校像の実現に向けて、「チーム夢学」で取り組む教職員
- 個々の生徒の状況に応じた、基礎学力の定着、社会性の育成等の指導・支援のできる教職員
- コンプライアンスの意識を高く持つ教職員

2 行動計画

(1) 職場環境づくり

- 日頃の教職員間のコミュニケーションを大切にするとともに、オフサイトミーティングを実施するなどし、相談や意見交換のしやすい組織風土を醸成します。
- 業務改善や時間外勤務時間の縮減により、教職員が心身の健康状態を良好に保ち、ゆとりと意欲を持って生徒に向き合える職場環境をつくります。
- 期首面談や期末面談等の充実を図るとともに、管理職から教職員に積極的な声掛けを行い、風通しの良い職場環境をつくります。

(2) コンプライアンス意識の向上

- 教職員としての規範意識を向上できるよう、職員会議等での不祥事及びコンプライアンスに係る情報共有をし、学期に1回コンプライアンスミーティングを行います。
- 不祥事根絶に向けた意識を向上できるよう、コンプライアンスに係るセルフチェックを6月、7月、11月、12月に実施するとともに、集団分析結果を共有し、そのさらなる改善に努めます。
- 外部講師によるコンプライアンスに関する研修会を8月に実施します。
- 管理職が、率先して教職員としての自覚や使命感、規範意識の維持向上に努めるとともに、コンプライアンス違反につながる小さな兆候を見逃さないようにします。

(3) 人権感覚あふれる学校づくり

- 人権教育計画に基づき、教職員一人ひとりが当事者意識を持って人権教育に参画します。
- 教職員一人ひとりが自分と人権問題との関わりを見つめるための研修や他者とのよりよい関係性を築くための研修に参加します。
- 生徒を傷つける言動が行われないよう、生徒情報交換会などを通じて多様な生徒の特性や生活背景等の理解を深めます。

(4) 社会に開かれた学校

- 学校の取組や生徒の様子等を積極的に発信するとともに、保護者や地域の人から学校の教育活動について意見を聞く機会を設けます。